

多自然川づくり取り組み事例

タイトル：タブノキ林伐採事故に学ぶ	
水系／河川名：淀川水系 犬上川	河川規模：中小河川
事業：河川改修	事業開始年度 昭和54年度
目標設定：なし	段階：D(実施・施工時)
課題・目的(主な)：自然河岸、河畔林の保全・再生・創出	
工法(主な)：掘削(高水敷)、樹木伐採、除根	
配慮事項(主な)：委員会、協議会等の開催、その他	

背景・課題、目標設定

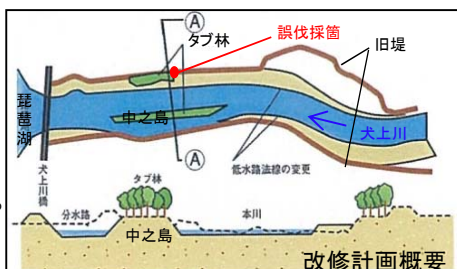
<背景>

一級河川犬上川は昭和54年に事業着手し、昭和63年に河畔林のタブノキ林が特定植物群落に選定され、平成8年に治水と環境の両立を目指す河川改修計画を策定し、タブノキ林を河道内の中之島及び右岸高水敷に保全する計画とした。

しかし、平成24年度の旧堤撤去工事時に保全すべきタブノキ林の一部を誤って伐採してしまった。

<目標>

- ・原因・経過を踏まえた再発防止策を講じる。
- ・職員の河川環境の整備と保全について認識を深める。



H24年11月の状況(伐木後)

取り組み内容・対策例

●犬上川タブノキ林保全・再生対策検討会の立ち上げ

基本方針

- ①生物環境アドバイザー制度の適用
- ②地元への説明会の実施
- ③稚樹の移植や育苗の実施
(残せるものは残す)
- ④経過観察



稚樹の移植(H24.11.16実施)



切株防腐処理(H25.2.5撮影)

モニタリング結果、アピールポイント、今後の対応方針

●再発防止策

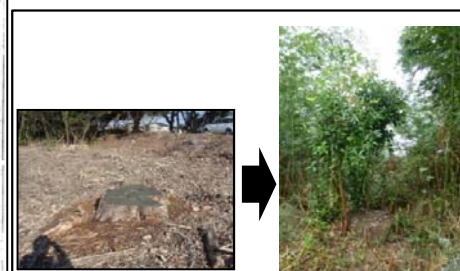
- ①緊急報告会の実施
- ②保全区域の明示、看板の設置
- ③改修平面図に必要な情報の記載
- ④生物環境アドバイザー制度の適用

●今後の対応 ～反省を今後に生かす～

- ・再発防止策の徹底
- ・現地モニタリングによる順応的管理



①報告会の実施(H24.11.19)



切り株からの萌芽状況(H26.10.1撮影)

問い合わせ先 滋賀県 土木交通部 流域政策局 河川・港湾室
電話番号 077-528-4157